



令和4年5月6日 <5月号>
 〒929-0325
 石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1
 TEL 076-289-2213
 FAX 076-288-5535



「自他共栄」の精神

校長 小村 隆典

ゴールデンウィークに入り、部活動の河北都市春季大会が行われました。どの競技でも津幡中生は対戦選手や審判等の方々への礼儀がしっかりとしており、応援してさわやかな気持ちになりました。サッカーでは接触プレーにより選手が倒れたときには、敵味方関係なく声をかける場面が何度も見られました。互いを尊重して高め合おうとする「自他共栄」の精神を感じました。

「互いに高め合うこと」、「自分も相手も大切にすること」の正反対は「いじめ」です。いじめは絶対に許されないことです。いじめは人に優劣をつける間違った考え方から始まると言われます。人の失敗を笑ったり、自分が楽しくなるために誰かをからかったりすることは許されません。（楽しさとは人を犠牲にして得られるものではありません。）

言葉を発する前に、行動する前に「思考する」・「想像する」ことが大切です。自分の言動で、「相手がよろこぶのか」「嫌な思いをさせていないか」

「（自分の言動は）相手を大切にしているか」を考えます。この思考力・想像力を持つことが優しさだと思います。



詩人の宮澤章二さんの作品に『<思い>は見えないけれど<思いやり>は見える』という一節があります。津幡中生みんなで優しい<思い>を<思いやり>という行為にしましょう。もし嫌な思いをしている人がいたら、その人に声をかけて力になってください。または先生や他の大人に相談をしてください。ときには失敗して相手を傷つけてしまったら、心から謝りましょう。謝ること、自分の失敗を認めるには勇気が必要です。でも、自分の失敗を認めることから成長が始まります。

私は入学式式辞で「皆さんの可能性は無限大である。誰でも努力次第で『なりたい自分』に近づくことができる。」と話しました。学習や部活動だけではなく、人間性においても皆さんの可能性は無限大です。

「自他共栄」の精神 = 『互いに高め合う学級・学年・学校』を目指し、私たち全員で優しい<思い>を具体的な行為<思いやり>にしていきたいと思います。



『行為の意味』

宮澤 章二

あなたの心はどんな形ですかと
 人に聞かれても答えようがない
 自分にも 他人にも心は見えない
 けれどほんとうに見えないのであろうか
 確かに心はだれにも見えないけれど
 心づかいは見えるのだ
 それは 人に対する積極的な行為だから



同じように胸の中の思いは見えないけれど
 思いやりは見えるのだ
 それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
 やさしい思いが やさしい行為になるとき
 「心」も「思い」も、初めて美しく生きる

それは 人が人として生きることだ